

事業実施日時		事業の名称	
令和3年12月4日(土) 10:50 ~ 12:00		自民党本部_茂木幹事長への陳情・要望「国の予算編成における国土強靱化に向けた要望」	
実施主体	概要	備考	
(一社) 山梨県建設業協会	出席者 2名 5名	自民党幹事長：茂木敏充 衆議院議員 自民党山梨県連：臼井常任顧問 県建協：浅野会長、桜井副会長、丹澤副会長、飯野常務理事	
事業の内容			
<p>1 浅野会長あいさつ</p> <p>茂木幹事長には貴重な時間を割いていただき、要望の機会を頂き感謝いたします。 私の方から、要望の概要について説明させていただきます。 (要望概要の説明)</p> <p>本年も全国各地で土砂災害などの自然災害が頻発しており、自民党におかれては「国土強靱化」施策を強力に推進され、県内でも8月に中部横断自動車道が静岡県の新東名高速道路に連結され、沿線の「道の駅」などでの賑わいが報道されて、高速道路の整備効果を実感しております。 残る、長坂から長野県・八千穂間については未開通であり、早期のミッシングリンクの解消が望まれております。</p> <p>また、甲府盆地を流れる富士川は「日本三大急流」の一つに数えられ、これまで甚大な災害が発生しており、「信玄堤」など先人が苦勞して堤防を築くなど、多くの地域で氾濫や堤防の決壊への不安から県民の治水への意識は高く、「国土強靱化」施策への期待は大きいものがあります。</p> <p>しかしながら、県内の建設業者数は減ってきており、「地域の守り手」として更なる業者の減少は地域社会の大きな障害となることが強く懸念されることから、地域建設業者が社会的な使命が果たせ</p> <p>るよう、以下についてご配慮を賜りますようお願いいたします。</p> <p>【要望事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「5か年加速化対策」の強力な推進 補正予算の早期成立及び4年度予算編成における社会資本整備予算の総額確保 補正予算、及び4年度当初予算における山梨県への必要額の配分 幹線道路ネットワークの確立 <ul style="list-style-type: none"> 中部横断自動車道 長坂～八千穂間の早期事業化 新山梨環状道路 東部・北部区間の整備促進 国道137号(新たな御坂トンネル整備事業)の重要物流道路の指定 国道411号など県外と結ぶ幹線道路の整備促進 治水安全性の向上 <ul style="list-style-type: none"> 富士川など主要河川の流下能力の向上及び堤防強化 1級河川 横川改修新規事業化 <p>以上、よろしく願いいたします。とあいさつした上で、別添の要望書を手渡した。</p>			

2 要望書の説明（飯野常務理事） 別添「参考資料」参照

参考資料として、山梨県の道路網の概要と甲府盆地の水害対策、流域治水対策について説明し、令和元年度台風15号災害応急対策業務報告と、台風19号に伴う山梨県との災害協定に基づいた、会員企業対応について、また本年度の富士山災害復旧についても合わせて説明した。

3 陳情・要望に対する茂木幹事長からのご回答

日頃からインフラ整備並びに地域の安全・安心の確保に、様々な形でご協力いただいていることに

心から感謝申し上げます。

私の地元でも一昨年台風19号による大きな被害を受けまして、毎年のように記録的な災害が起こっ

ていると言うことで、改めて治水、国土強靱化、防災・減災の重要性を感じている。

今回の補正予算・経済対策の中で、2兆7千億円を超える大規模な予算を組ませていただいている。

補正予算の早期の成立と、本予算には5カ年計画をしっかりと反映させていかなければならないと

思っている。

この後県内の現場視察をする予定になっているので、現地での意見をお聞きしながら、党としても

皆様の活動を全面的にバックアップしていきたいと考えている。

事業の実施場所

ベルクラシック甲府 2階応接室（山梨県甲府市）

（写真1）要望書を茂木幹事長に手渡す浅野会長

（写真2）陳情要望する正副会長・専務理事の様子

